

THE 41<sup>ST</sup> JAPANESE ACADEMY OF SENSORY INTEGRATION CONGRESS IN OKINAWA

第41回

# 日本感覚統合学会研究大会 in 沖縄

プログラム抄録集

## 子どもの生活と感覚統合



会期 2024年 12月14日(土)・15日(日)

大会長 村越 雄二 発達支援ルームAQUA

会場 糸満市観光文化交流拠点施設 シャボン玉石けん くくる糸満

主催：一般社団法人 日本感覚統合学会

# INDEX

---

|               |    |
|---------------|----|
| 大会長挨拶         | 1  |
| 参加の皆様へ        | 2  |
| 合理的配慮について     | 3  |
| 会場アクセス        | 4  |
| 会場案内図         | 5  |
| 発表者・座長の皆様へ    | 6  |
| 大会スケジュール(日程表) | 8  |
| プログラム         | 9  |
| 抄 録           |    |
| 招待講演          | 14 |
| 大会記念講演        | 15 |
| 基調講演          | 16 |
| シンポジウム        | 17 |
| 公開講座          | 21 |
| 口述発表          | 32 |
| 次回大会案内        | 44 |
| 実行委員名簿        | 45 |
| 後援団体一覧        | 46 |

## 第41回日本感覚統合学会研究大会

# 大会長挨拶

第41回日本感覚統合学会研究大会

大会長 村越 雄二

(発達支援ルーム AQUA)

第41回大会を沖縄県で開催するにあたり、大会長を務めさせていただきます、沖縄県宜野座村にあります発達支援ルーム AQUA 村越雄二と申します。

作業療法士の資格を持たない私と感覚統合の出会い、20数年前、教育学部の学生当時に学会長の土田玲子先生がサポートする子どもたちとの遊びの中でした。

そんな私は現在、感覚統合の考えをいかした支援は、障害の有無に関わらずその子にあった豊かな生活を保障する支援と成り得て、その方法は、子どもの有能感の獲得を目指し、感覚や運動を通じた遊びや活動を主とするところから子育てや保育・教育現場等の幅広い現場で取り入れることのできる「包括的な支援」だと考えています。

そこで、本大会テーマを『子ども生活と感覚統合～子育て・保育・教育に「感覚統合の考え」が貢献できること～』とし、感覚統合の考えをいかした支援とは何か、感覚統合の考えをいかした支援は子どもの生活にいかに貢献するか等を議論する場として大会の準備を進めて参りました。

まず基調講演を、加藤寿宏先生にお願いしました。先生には「子どもの発達における感覚統合の重要性」と題してご講演頂きます。改めて感覚統合とは何か？感覚統合は、子どもの発達にどう重要なのか概説していただきます。

次に記念講演として、小学生時代、村越が運営する児童デイサービスの活動に参加した『ゆう』の体験談「生活の中の感覚統合」を実施します。『ゆう』にとって、遊びの支援に参加してよかったか？生活の中で役立ったか？などの質問を投げかけてみようと思っています。会場の皆様からも積極的に『ゆう』に、ご質問していただけるような形式で進めさせていただく考えです。「講演」と銘打っておりますが、座談会のような雰囲気でお話の皆さんと『ゆう』のお話を聞くことが出来ればと思います。

「子育て、保育、教育に感覚統合が貢献できること」に関連して学会理事によるシンポジウム、学会員による実践報告(公開講座)を行います。感覚統合の考えをいかした支援が、子どもを中心とした保護者、保育者、教員にいかに貢献できるのか、その可能性や具体例について会場の皆様と触れ、学び、深めたいと思っています。

招待講演についてご紹介いたします。招待講演は、田中康雄先生です。スケジュールの関係で本講演はオンライン配信となりますが、先生は子どもを中心に保護者や保育士、教師等、子どもに最も近い支援者の方と共に支援に従事されてきておられます。本大会の招待講演として最適であると確信しております。是非、先生のご講演も視聴お願い致します。


最後に本大会では、12題の会員の皆様による口述発表を実施致します。感覚統合について研究大会で議論・共有することは、本実践の充実と発展にとって必須なことだと考えますので、会場にて積極的な議論が実施できればと考えております。

沖縄県での研究大会開催は初となります。沖縄の地で、感覚統合の考えをいかした支援について、皆様と共有、議論できればと考えておりますので、よろしくお願い致します。


## 参加の皆様へ

県外からご参加の皆様へ

朝・晩、会場と赤嶺駅間の  
シャトルバスの運行決定！  
(約20分)



会場：くる糸満



【宿泊ホテルについて】

- モノレール沿いのホテルならどこでもアクセス便利！  
(「旭橋駅」から「安里駅」間にホテル多数)
- 「県庁前駅」(赤嶺駅から9分270円)  
周辺は国際通りも近く、観光にも便利！
- 「おもろまち駅」(赤嶺駅から14分300円)  
周辺にも、飲食店多数！

By ウチナー人

### 【現地参加の皆様へ】

#### 〈ネームプレートの着用について〉

現地参加の際は、持参されたネームプレートの常時着用をお願い致します。ネームプレートは各自プリントアウトしてご持参ください。ネームホルダーは、会場入り口の受付付近にありますのでご使用ください。ネームホルダーは、返却不要ですのでお持ち帰りください。

#### 〈プログラムについて〉

大ホールにて全プログラムを行います。

#### 〈昼食等について〉

- ・弁当の予約販売等はありません。各自でご準備ください。
- ・昼食時は、会場にて飲食が可能です。
- ・持ち込まれた弁当等のごみは、各自お持ち帰りください。
- ・会場内に飲食店はありますが、近隣の施設にて軽食は可能です。

#### 〈駐車場について〉

会場には無料駐車場があります。但し数に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関やシャトルバスをご利用頂き、自家用車の場合は乗り合わせでご来場いただきますよう、ご協力ください。

#### 〈喫煙所について〉

会場は敷地内禁煙です。

### 〈書籍販売・機器展示について〉

今回の研究大会は、書籍販売等はございません。

### 〈託児サービスについて〉

今回の研究大会は、諸般の事情により託児はございません。

### 〈レセプション・交流会について〉

レセプション・交流会はございませんが、大会2日目の昼食時に創作芸団レキオスによるエイサーを予定しております。

エイサー | 創作芸団レキオス | 沖縄県 | 創作芸団 REQUIOS (requios1998.wixsite.com)

## 合理的配慮について

- ①本大会では、一部の講演について「UD トーク」による字幕の投影を実施いたします。音声認識の精度により、誤表示や表示に遅延が生じる可能性がございます。この点をあらかじめご理解いただき、聴講の一助として是非お役立てください。

#### 現地参加の場合：

会場前方に設置した字幕用スクリーンに表示いたします。ご自身のスマートフォン等に字幕を表示させる場合は、講演前に掲示するQRコードを読み取り、Webブラウザアプリ（Chrome、Safari など）で字幕画面を表示してください。

#### 事後配信で字幕を見る場合：

配信動画（Vimeo）を再生するプレイヤーの字幕機能（自動生成）を使用し、各自で字幕表示を行ってください。

- ②会場内に車椅子スペースを確保致します。

- ③会場後方に防音された観覧席があります。感覚過敏（聴覚過敏）等でホール内での聴講が難しい方のご利用を優先させていただきます。（ステージの音声は、スピーカーを通して聴くことができます。）

上記②③を希望される方は、参加申込に合わせて11月30日までに大会事務局 (sijapan.congress+41th@gmail.com) まで、件名に「合理的配慮の希望」と記してご連絡ください。

その他の配慮等をご希望される方も、同様に大会事務局までご連絡ください。なお、会場設備等の問題ですべての配慮に対応できない場合があることを、予めご了承ください。

## 会場アクセス

会場：糸満市観光文化交流拠点施設シャボン玉石けん くくる糸満

〒901-0364 沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番2 (糸満市役所となり)

アクセスの詳細は会場ホームページ(<https://www.kukuru-itomancity.jp/>)をご参照ください。



### ■ シャトルバスをご利用の方

ゆいレール赤嶺駅

北口バス停から発車します。

[12/14 (土)]

8:45発 → 会場へ

会場18:20発 → 赤嶺駅へ

[12/15 (日)]

8:15発 → 会場へ

会場16:20発 → 赤嶺駅へ

### ■ 公共のバスの利用

土曜日・日曜日は運休しています。

### ■ 最寄りのタクシー会社

糸満タクシー株式会社 098-868-3666

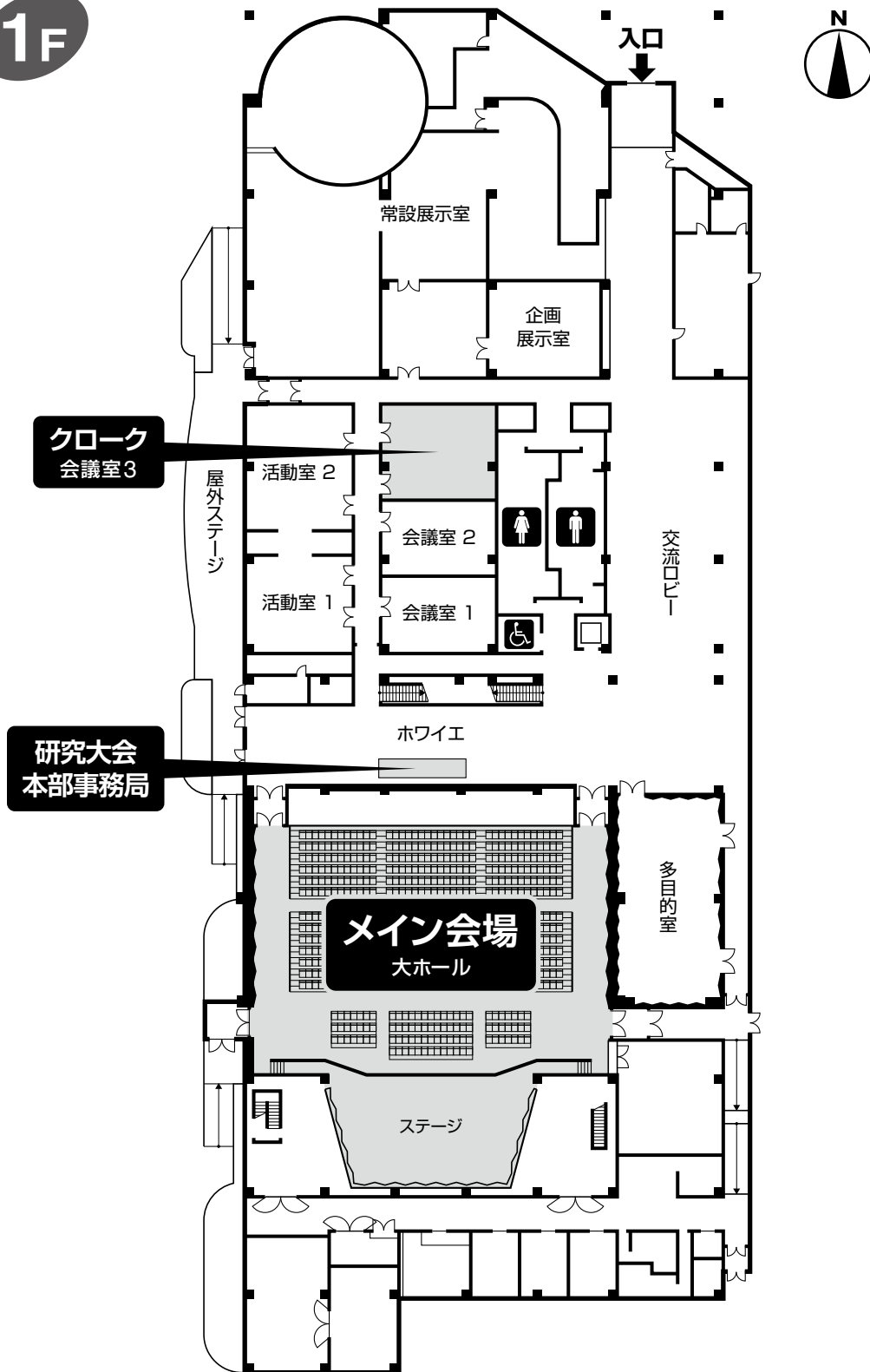
糸満共同無線配車センター 098-995-0111

共和交通 0120-184-431



# 会場案内図

1F



# 発表者・座長の皆様へ

## 【口述発表：座長の方】

- 座長の受付は、大ホール入口、大会本部にて行っております。
- ご担当セッション開始30分前までに受付をお済ませの上、10分前までに登壇者席にお座りください。
- 発表時間は、発表10分・質疑応答5分の合計15分です。

## 【口述発表：発表者の方】

### 1. 参加登録について

口述発表の発表者は、事前に研究大会ホームページから参加申込をお願いします。当日、現地での参加申込はできませんのでご注意ください。

### 2. 発表について

- 発表時間は、発表10分・質疑応答5分の合計15分です。
- 発表は現地会場での口述発表です。リアルタイム配信、事後配信はございません。

### 3. 発表データの形式

- 会場には、発表用のパソコン(OS: Windows 11、プレゼンテーションソフト: Office PowerPoint 2019)およびマウス、プロジェクター、HDMI ケーブル、マイクを準備します。パソコン本体は持ち込めません。
- スライド作成は必ず Windows 版 Microsoft PowerPoint を使用してください。
- 当日の発表データは、PowerPoint にてご提出いただきます。
- 当日の発表データの作成は、OS 標準フォントをご使用ください。
- PowerPoint のファイルには、氏名-所属をファイル名につけてください。  
例) 感覚太郎-〇〇大学

### 4. 発表データ受付

データの受付は、当日のトラブルの回避のため、事前データ送付をお願い致します。

#### ① 事前データ送付

- 12月1日～12月10日の間に事務局メールアドレス (si.japan.congress+41th@gmail.com) まで PowerPoint のファイルをお送りください。
- ファイルの容量が重い場合にはファイル転送サービス等をご利用された上で、その旨をお知らせください。
- 研究大会側の発表用パソコンで動作するかを確認し、不具合ある場合にはご連絡させていただきます。
- 発表用データは、研究大会側の発表用パソコンにいったんコピーさせていただきますが、学会終了後に削除いたします。



## ②当日受付

- 最終の動作確認(発表当日の最終動作確認)を以下の手順で行います。

口述発表Ⅰ・Ⅱ(研究・事例) 14日(土) 9:35

口述発表Ⅲ(実践) 15日(日) 9:05

※指定の時間までに、会場前方、左側に設置している登壇者席周辺にお集まりください。

※会場運営の都合がありますので、時間厳守でお願いいたします。

## 5. 発表について

- 12月14日「口述発表Ⅰ(研究)」は13:00から、「口述発表Ⅱ(事例)」は13:55から開始します。
- 12月15日「口述発表Ⅲ(実践)」は13:10から開始します。
- セッション開始10分前までに登壇者席にお座りください。

## 6. 個人情報の取り扱いについて

- 事例等を発表する場合、本人・保護者・機関等の了承を得たうえで、個人が特定されることのないよう十分配慮してください。
- 当日提示する資料等には、必ず「本人・保護者・機関等の了承を得て掲載している」旨を明記し、発表時にもその旨を口述してください。
- 写真を掲載する場合は、写っているすべての方の了承を得てください。

## 7. 問い合わせ

第41回日本感覚統合学会研究大会 事務局

si.japan.congress+41th@gmail.com

# 大会スケジュール(日程表)

1日目 2024年12月14日(土)

2日目 12月15日(日)

## 大ホール

## 大ホール

|             |   |
|-------------|---|
| 9:00        |   |
| 9:30~18:20  | クローク受付  |
| 9:30~       | 開場  |
| 10:00~      | 開会式   |
| 10:15~11:45 | 基調講演<br>子どもの発達における<br>感覚統合の重要性<br>講師：加藤 寿宏<br>座長：小浜 ゆかり   |
| 11:00       | 昼休憩(75分)  |
| 12:00       | 12:00~12:40<br>感覚統合っぽいことやってみた！<br>座長：太田 篤志・新庄 玉恵  |
| 13:00       | 13:00~13:45<br>口述発表Ⅰ [研究報告]<br>座長：松島 佳苗   |
| 14:00       | 13:55~15:10<br>口述発表Ⅱ<br>[事例報告]<br>座長：木村 まり子   |
| 15:00       | 15:15~ 入場 *公開講座のみの方   |
| 16:00       | 15:30~18:00<br>公開講座<br>子育て・保育・教育における<br>感覚統合の実践報告<br>座長：高木 玉紀<br>話題提供者：和氣 真菜美<br>浅野 由希<br>第十 麻紀<br>指定討論者：大城 政之<br>畠中 雄平 |
| 17:00       |   |
| 18:00       |   |

|             |  |
|-------------|--|
| 9:00~16:30  | クローク受付   |
| 9:00~       | 開場   |
| 9:30~10:00  | 招待講演*<br>地域で取り組む発達支援 ~子どもと家族への関りを通して~<br>講師：田中 康雄 座長：土田 玲子   |
| 10:10~12:10 | シンポジウム**<br>子育て・保育・教育に<br>感覚統合の考えが貢献できること<br>座長：日田 勝子<br>話題提供者：岩永 竜一郎<br>太田 篤志<br>加藤 寿宏<br>指定討論者：田中 康雄 |
|             | 昼休憩(60分)   |
|             | *創作芸団レキオスによるエイサー演舞   |
| 13:10~14:10 | 口述発表Ⅲ<br>[実践報告]<br>座長：引野 里絵  |
| 14:25~15:40 | 大会記念講演<br>生活の中の感覚統合<br>講師：ゆう<br>村越 雄二<br>座長：山西 葉子  |
| 15:45~16:00 | 閉会式  |
|             | ※招待講演<br>オンラインでの聴講、会場(15日)では、<br>オンライン質疑となります。   |
|             | ※※シンポジウム<br>指定討論の田中康雄先生はオンラインで<br>の登壇となります。  |

# プログラム

会場：シャボン玉石けん くくる糸満 大ホール

## 招待講演

12月15日(日) 9:30～10:00

座長：土田 玲子(なごみの社代表理事/学会長)

### 地域で取り組む発達支援 ～子どもと家族への関りを通して～

田中 康雄      ころとそだちのクリニック むすびめ 院長 児童精神科医

※オンラインでの聴講、会場(15日)でのオンライン質疑となります。

## 大会記念講演

12月15日(日) 14:25～15:40

座長：山西 葉子(東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 助教)

### 生活の中の感覚統合

ゆう              大学生

村越 雄二      発達支援ルーム AQUA / 大会長

## 基調講演

12月14日(土) 10:15～11:45

座長：小浜 ゆかり(さぼーとせんたーi / 副大会長)

### 子どもの発達における感覚統合の重要性

加藤 寿宏      関西医科大学 リハビリテーション学科 教授

## 〔子育て・保育・教育に感覚統合の考えが貢献できること〕

話題提供者

1 家庭の子育ての中で感覚統合が貢献できること  
岩永 竜一郎 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授

2 保育の中で感覚統合が貢献できること  
太田 篤志 株式会社アニマシオン プレイジム 管理者

3 学校生活の中で感覚統合が貢献できること  
加藤 寿宏 関西医科大学 リハビリテーション学科 教授

指定討論者 田中 康雄 ころとそだちのクリニック むすびめ 院長 児童精神科医

※指定討論の田中康雄先生はオンラインでの登壇となります。

## 公開講座

12月14日(土) 15:30～18:00

座長：高木 玉紀(大阪府立茨木支援学校)

## 〔子育て・保育・教育における感覚統合の実践報告〕

話題提供者

1 子育てと感覚統合  
和氣 真菜美 放課後等デイサービスかえで

2 保育と感覚統合  
浅野 由希 フリーランス

3 学校で生かせる感覚統合の考え方  
第十 麻紀 亀岡市立亀岡小学校 作業療法士・教諭

指定討論者 大城 政之 浦添市教育委員会 特別支援教育コーディネーター  
島中 雄平 琉球大学 人文社会学部 人間社会学科 教授 児童精神科医

# 口述発表 プログラム

## 口述発表 I

12月14日(土) 13:00～13:45

座長：松島 佳苗(関西医科大学 リハビリテーション学科)

[ 研究：研究発表 ]

- I-1** 演習体験が作業療法学生の感覚処理システムの認知に及ぼす影響  
増田 久美子 県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科 作業療法学コース
- I-2** 知的能力障害を伴う自閉スペクトラム症幼児への感覚統合療法を用いた効果研究  
—パイロットスタディー—  
中村 浩紹 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所 博士後期課程
- I-3** ADAPP の開発に関する研究  
～5, 6歳児における定型発達児と神経発達症児の比較～  
米田 直人 一般社団法人誠智愛の会 Minds & Hopes

## 口述発表 II

12月14日(土) 13:55～15:10

座長：木村 まり子(福岡国際医療福祉大学 医療学部 作業療法学科)

[ 事例：感覚統合療法による事例報告 ]

- II-1** 人への働きかけの拡大を目指した自閉スペクトラム症児の一例  
林 昂亮 社会福祉法人 愛徳園 愛徳医療福祉センター
- II-2** 学習に困難さを抱える学生への感覚統合機能評価からの支援  
—2事例の報告から—  
佐々木 清子 東京保健医療専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
- II-3** 自閉スペクトラム症児への感覚統合療法による介入が  
被り服の着脱の獲得につながった一事例  
森川 芳彦 専門学校川崎リハビリテーション学院 作業療法学科
- II-4** 海賊ごっこのSI支援で、高所からのジャンプや体当たり等の  
危険な行動と落ち着きのなさに支援した症例  
松本 尚士 特定非営利活動法人 こどもの発達研究室きりん
- II-5** 机上活動から感覚統合療法の視点を活かした介入に変更した一例  
松本 美穂子 滋賀県立小児保健医療センター リハビリテーション科

[ 実践：感覚統合理論を活用した実践報告 ]

**Ⅲ-1 感覚統合理論を生かしたおうち遊び：牛乳パックを使った様々な遊び**

福永 寿紀 大和大学白鳳短期大学部

**Ⅲ-2 トイレ誘導が保育園ではうまくいかない児への感覚に着目した関り**

藤原 裕登 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 リハビリテーション部

**Ⅲ-3 感覚統合理論で考えるホースセラピーの実践  
～馬との触れ合いがもたらす心身機能の向上効果～**

中瀬 弘士 米原市地域包括医療福祉センター ふくしあ

**Ⅲ-4 保育者による4歳児へのS-JMAPの実施**

椎野 広久 特定非営利活動法人 こどもの発達研究室きりん

# 抄 録

招 待 講 演

大会記念講演

基 調 講 演

シンポジウム

公 開 講 座

# 抄 録

## 口 述 発 表



